

公益財団法人  
横浜市緑の協会  
加藤 満さん  
郡司 美佐さん  
本田 昌幸さん

緑の協会管理部施設  
課のみなさん。左から  
園地管理第二係長  
本田昌幸さん、緑化  
推進係の郡司美佐さ  
ん、緑化推進係長の  
加藤満さん



よこはま産の草花でまちを緑化するしくみ、あります！



花苗配布委員会  
JA横浜花き部  
白井農園  
白井 俊明さん  
(港南区)

白井農園の白井俊明さん

ゼラニウムやセンニチコウ、ストック、コスモス、プリムラやパンジーなどを育てています。「うちの花苗は全て市場に出しているの、花やぐまち助成事業で市民の方に直接届けに行くのは緊張感ありますよ」と白井さん。その場で育て方のアドバイスをすることもあるとか。いい苗だったよと言われると励みになるそうです。

花の生産は、肥料の配合、水やりの仕方などに繊細さが要求される仕事です。普段から近隣の親しい花農家とよく交流し、栽培技術の向上に努めている白井さん。「里山ガーデン用の花苗は、さらに品質に気を使います。納品日は市内全域から生産者が集まるから情報交換の機会にもなっています」と、仲間とのつながりを大切にしていることがうかがえました。

横浜市は、開港による西洋文化の流入とともに、種苗の輸出入や洋花の栽培が国内でもいち早く始まったまち。花の地産地消の取り組みも進んでいます。横浜の花の魅力を発信する「よこはま花と緑の春フェア」や春秋の「里山ガーデンフェスタ」、花き栽培の技術を競う冬の「横浜花き展覧会」にも、緑の協会や農家が変わって花栽培の歴史と文化を伝えています。

公益財団法人横浜市緑の協会  
〔住所〕 横浜市中区日本大通58 日本大通ビル2階  
〔電話〕 045-228-9470 (緑化推進係)  
<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp>

白井農園  
〔住所〕 横浜市港南区日野4-7-17



公益財団法人横浜市緑の協会は、個人や企業、団体から募った「よこはま緑の街づくり基金」の運用益等を活用して、花の地産地消を推進しています。「花やぐまち助成事業」では、よこはま緑の推進団体（緑化活動を行う市民団体）に、種を無償で、花苗や球根を半額補助で支給しています（上限あり）。春と秋の2回、合計すると種は3000袋以上、花苗10万株以上、球根2万球以上、配付先はのべ1000団体を超えるそうです。「JA横浜花き部と連携して、市内の花き生産者から市民の方々に直接花を届けてもらっています」と、緑の協会の施設課で、緑化推進係長を務める加藤満さん。「ガーデンネックレス横浜」の見どころ「里山ガーデンフェスタ」の花壇を彩る草花も、仕入れの約9割が横浜産だと教えてくれました。

花苗配布委員会に属する15農家のうち、今回取材に応じたくださった港南区の白井農園・白井俊明さんは、



里山ガーデンの大花壇 (2020年9月撮影)

協会発行の季刊誌『みどり』には、季節の花の見どころの特集や、植物や園芸に関する豆知識、基金の使い道報告などが掲載されている。同協会は市内の動物園や植物園の管理も行う

## 横浜市からのお知らせ

横浜農場公式Instagramアカウントで横浜の農や地産地消の発信を行っています！ぜひ、横浜の「食」や「農」に関わる写真を「#横浜農場」をつけて投稿してください。



@yokohama\_farm\_official

## 収穫の秋 ～地産地消月間(11月)～

地産地消イベント情報やお得なキャンペーン情報など横浜農場公式Instagramで発信しますので、ぜひ、チェックをお忘れなく。「フォロー」や「いいね!」をお願いします。お楽しみに。

はまふうどナビのバックナンバーは  
ウェブサイトでもご覧いただけます

はまふうどナビ 検索



発行:横浜市環境創造局農業振興課 令和3年10月発行  
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL:045-671-2639 FAX:045-664-4425

横浜みどりアップ計画

10  
2021  
Vol.58

# はまふうどナビ



よこはまの農と暮らしを結ぶ情報誌

2021年最新情報!

## 横浜の直売とマルシェイベントの

# 現在地

「はまふうどナビ」で直売・マルシェ特集をするのは4年ぶりです。この間、IT技術の進化や環境問題への意識の向上、地産地消への認知度拡大などによって、直売やマルシェのあり方も少しずつ変化しています。

### 横浜中心部にも広がる横浜野菜の直売

横浜市では市域の約7%が農地で、郊外部ほど農地が広がり農家戸数が多い傾向にあります。各区で発行している直売情報や地産地消サポート店のMAPが充実し、市民が地産地消に親しみやすくなってきています。

農地や常設の直売所はない西区や中区でも、横浜市役所での横浜野菜直売所のほか、みなとみらい農家朝市や商業施設でのイベントなど、中心部でも横浜の農産物を手に入れやすい環境が整い始めています。開催日には地元の住民たちが列をなすことも。「朝採れの野菜のおいしさに目覚めたお客さんがリピートしてくれて常連になる」と、販売する側も手応えを感じています。



11月は  
地産地消  
月間!

みなとみらい農家朝市出店者会会長

### ITやSNSの活用で直売をより身近に

農家自身による直売のスタイルも多様化しています。農家の軒先での直売からコインロッカー型、店舗の軒先を借りてのマルシェ型や、軽トラに農作物を載せての引き売りなど、それぞれに工夫を凝らして固定ファンがついています。

最近増えているのは、農家自身がSNSを使って収穫した野菜のことやその調理法、レシピなどを発信するケース。スマホのLINEにその日のオススメが届いたり、おいしい野菜や果物の画像が流れてくるInstagram、農家の人柄が垣間見られるFacebookなど、SNSごとに情報の届き方に特性があります。



コインロッカー型直売所

### マルシェイベントのあり方も柔軟に変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年以降のマルシェイベントは、開催できない時期が長期間続くと、いまだに大きな影響があります。一方で、おうち時間が増え、身近な農や旬の野菜のおいしさに気づいた人たちが、地元の食材を求める機運が高まっています。規模を小さく、地域の人向けにマルシェイベントを再開したり、新たに始める事例も出てきています。

集合住宅でも、住民団体がマルシェイベントを企画し、住民と近隣のコミュニティ作り役立てる事例もちらほら聞かれます。今後、高齢化によって移動や買い物の困難な人が出ることが予想される地域で、こうした出張型のマルシェへのニーズは高まっていくでしょう。



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更されたり中止になる場合があります。事前にHPやSNSを検索し開催状況を調べてからお出かけください。



加藤農園の加藤恵子さん。家族で年間約30種の野菜を栽培

＼ 農家によるコインロッカー直売 /

## 野菜の“自動販売機”あります！

横浜市営地下鉄ブルーライン仲町台駅から徒歩5分。住宅地の一角に加藤農園の自動販売機があります。コインロッカー式の販売機には100円と200円、300円の棚があり、その中に約10種類の季節野菜が並びます。欲しい野菜の棚にお金を投入すると、扉がガチャリと開いて商品を取り出せるのです。近くの畑で収穫しているから鮮度抜群で、近隣はもちろん遠方から訪れる人もいるほどの人気ぶり。

「コロナ禍だからお客さんが多いんですよ。人と対面せず、生産者以外は触れていないものを購入できるからでしょうか」と加藤さんは分析します。朝10時に野菜を並べると、1時間ほどで売り切れる日もしばしば。販売機の設置をきっかけに始めた公式LINEに「おすすめ野菜や調理法」を発信すると売れ行きが違うのだとか。

「お母さんと子どもが販売機をのぞいて、野菜の名前を呼び合う光景は微笑ましい」と笑う加藤さん。スーパーが閉まった時間でも近所の若い人が野菜を買うように日持ちするジャガイモを追加で入れておくこともあるそう。農家さんの優しい思いとともに、より便利に新鮮な地元野菜が地元の人へ届けられています。秋にはサツマイモ掘りのイベントなども企画しており、加藤さん自身楽しみながら準備しています。ゆくゆくは子ども向けの料理教室やイベントもしたいとか。コインロッカーから始まった加藤農園の新しい試みに、今後も目が離せません。



自動販売機。野菜が売り切れると、度々補充される。その際は消毒も



自販機には使いやすいセット野菜も入れている

information

加藤農園直売所  
 [場所] 横浜市都筑区仲町台4-25-12  
 [日程] 自動販売機は5月～7月と10月～12月に稼働、10:00～売り切れ次第終了  
 詳しい運営情報は、設置場所に掲示したチラシや加藤農園の公式LINEで通知

公式LINE



＼ 古くて新しい引き売りスタイル /

## 新鮮な旬野菜を軽トラで対面販売、直売所も盛況

軽トラックでの「引き売り」に加え自宅に「直売所」も設置…と、直売に力を注いでいるのは旭区の農家・松井一郎さんです。妻の加代子さんの家は代々この地で農業を営んできた家柄で、松井さんはその後継ぎ。引き売りについては、昭和20、30年代の先代の頃から、4kmほど先にある藤棚商店街(西区) 界限まで牛車で野菜を売りに行ったという伝統もあるそうです。

今は露地栽培した季節の野菜を軽トラいっぱい積み込み、毎週3回、販売スポット3か所と、50軒ほどの訪問販売でお客様から喜ばれているそうで、固定客が9割にも上るのだとか。

そして一年前、自宅前に露地野菜の直売店「さくら農園」を設置。取材時はちょうど火曜の対面販売の日で、開店と同時に近所の常連さんが次々と訪れ、松井さんのおしゃべりも楽しんで賑わっていました。

秋には落花生や秋ナス、大根やブロッコリーといった秋野菜のほか、3年前から始めた「焼きいも」も人気だそう。人情味あふれる直売スタイルで地域に活気を運んでくれる農家さんです。



目にも楽しく彩りあふれる旬の野菜がいっぱい！



焼きいもは自家で収穫したベニハルカを1時間程かけて焼く贅沢な逸品



引き売りの様子。松井さんの元気な声に混じって、お客さん同士もおしゃべりで交流。引き売りや直売は消費地と生産地が隣接する横浜だからできるスタイルだと松井さん

自宅前の直売所での松井さん。先代の頃はJA直売所や近所の直売所で販売もしていたが、ほかの農家が撤退してしまったことから直売場所を自宅前に移したのだそう  
 (この写真を除く写真3点提供: 松井さん)

information

露地野菜の直売店 さくら農園  
 [場所] 横浜市旭区市沢町199-1  
 [日程] 火曜日10:00～15:00、木～月曜日(無人販売) 10:00～暗くなるまで水曜定休

Instagram



新しい生活様式で地産地消を！

## 「クックパッドマート」の注文品を横浜市営地下鉄の駅構内で受け取れる

レシピサービスで知られるクックパッド株式会社(西区)が提供する、生鮮食品を生産者や市場から直接消費者が非接触・非対面で受け取ることのできる生鮮食品EC「クックパッドマート」と、横浜市営地下鉄が今年6月から連携を開始しました。アプリから注文した食品は1点から送料無料で購入でき、横浜市営地下鉄センター南・センター北・戸塚駅構内に設置されたロッカー型の「マートステーション」に届けられ、好きな時間に受け取れます。

クックパッドマート公式サイト  
<https://cookpad-mart.com/>



野菜直売は毎週火曜日に実施、第1火曜は趣旨に賛同したパン、ハーブティ、焼き菓子なども招致した「オーガニックマルシェ」



第1火曜日には出店者との協同企画で地産地消のスペシャルコラボランチを提供

＼ はまふうどコンシェルジュ企画のマルシェ /

## 地産地消でサステイナブルなベジマルシェ

横浜市内で新規就農した農家と野菜料理研究者らで2017年に立ち上げたヨコハマベジメイトプロジェクトは、「農業・化学肥料:栽培期間中不使用」にこだわり、流通や販売の過程でもゼロ・ウェイストを目指しています。日ノ出町フードホール内の直営店「FarmDeli & Bar」では毎週火曜日にメンバーの農家たちから取り寄せた野菜を直売。プラ袋包装をやめて新聞紙を使い、お客さんはエコバッグや容器を持参するなど、生産・販売・消費に関わる全員が協力し合いながら、サステイナブルなマーケットを実現しています。「お客様と店、生産者という関係以上のものをつくらせている。マルシェを通して新たなライフスタイルとして発信しています」と話すのは事務局の小出好美さん。ユニークな品種が豊富に揃うのもベジマルシェならではの魅力です。



販売スタッフは日常的に援農にも参加しているという(取材日は浴衣デイ)

information

FarmDeli & Bar by ヨコハマベジメイトプロジェクト  
 [場所] 横浜市中区日ノ出町1-103-1 日ノ出町フードホール内  
 [日程] 野菜の直売は毎週火曜日 12:00～15:00、拡大版「オーガニックマルシェ」毎月第1火曜日 11:00～15:00



Instagram

大規模集合住宅でのマルシェ /

## 住民企画型という新スタイル 「いそご丘の上マルシェ」

JR根岸線・磯子駅の西側の丘の上に建つ13棟のマンション・プリリアシティ横浜磯子。敷地内の広場で今年度から奇数月の第1日曜に開催されているのが「いそご丘の上マルシェ」です。主催する磯子タウンマネジメント倶楽部は立候補した住民が中心となったマンションの管理組合の下部組織で、マンション内部だけでなく外部の近隣住民とのコミュニケーションの一環としてマルシェを企画。横浜北仲マルシェ(中区)などを手がける有限会社クーリエに運営を委託し、ボランティアも募りながら住民主導で実施しています。人気を集めているのは近隣にあまりないというパン屋や農家直売の野菜。キッチンカーはマルシェ開催日以外にも定期的に訪れています。将来は住民のサークルによる出店なども考えているそうです。

**information**  
いそご丘の上マルシェ  
[場所] 横浜市磯子区磯子3-13-2  
プリリアシティ横浜磯子 ヒルトップモール4F ヒルトップスクエア  
[日程] 奇数月の第1日曜日 10:00-15:00  
<https://isogotmc.net>  
イベントの開催状況について、詳しくはホームページでご確認ください



磯子タウンマネジメント倶楽部と有限会社クーリエの皆さん



さまざまな地産地消商品を紹介するはまふうどコンシェルジュのグループ「横浜おいしんぼエンジェル」



中区から来た横濱ワイナリー

まだまだあります!  
横浜の直売所

### 生産者団体による直売所やマルシェ

生産者のグループが定期的開催する直売イベントや青空市では、それぞれ野菜や果物といった農作物をメインに、地産地消の漬物やジャム・調味料などが店頭に並ぶこともあります。ご来場の際はマスクと小銭、マイバッグを持参して楽しんでください。

青空市や直売所のご案内



### 花き直売



横浜市の花の直売マップ



横浜市内には花きの直売所が46か所あります。市内の公園や街路樹の脇に植えられている花は横浜市内の花農家が育てたものが多く、様々な種類の花が楽しめます。これからの季節はシクラメンなどの贈答用も。

### 果物直売



横浜市内果樹園直売マップ



浜なしや浜ぶどう、柿、ミカン、梅、ブルーベリーにキウイフルーツ…。市場にはあまり出回らない果物は、ぜひ直売所を訪ねてみて。採れたてフルーツの瑞々しさ、飛びっきりの甘さに、びっくりするはずですよ。

横浜都心部でも新鮮野菜をゲット!

## 毎週月木、市役所が熱い! 横浜野菜直売所 ～横浜農場×ハマッ子直売所～

横浜市役所で毎週月木に開催されるJAハマッ子の直売が大人気です。朝採れの野菜を求めて11:00の開店時には行列が。「浜なしや浜ぶどうなどのブランド品や、今の時期にしか採れない旬のものを出せるのが魅力」「お客さんの反応を農家さんにフィードバックできる」と、JAの職員が対面販売して、農家とお客さまとの橋渡しをします。秋は横浜の名産・小松菜やキャベツの旬。サツマイモやキウイも見逃せません。

**information**  
横浜野菜直売所  
横浜農場×ハマッ子直売所 市庁舎出張所  
[場所] 横浜市役所2F(中区本町6-50-10)  
[日程] 毎週月曜日・木曜日 11:00～13:00  
(祝日等で休みの場合あり)



JA横浜販売部の岡隆二さん(左)と盛口健洋さん



開店と同時に近隣住民が列をなして野菜をたくさん買っていき

## 待ちに待った再開! 6軒の農家が直接販売 「みなとみらい農家朝市」

開港150周年を機に定期開催されてきたみなとみらい農家朝市は、6軒の農家が直接出向いて販売するスタイルで人気を博しています。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でやむなく中止。2021年に再開するや楽しみに待っていたお客さんで賑わい、活気を取り戻しています。

**information**  
みなとみらい農家朝市  
[場所] 高島中央公園(西区みなとみらい5-2)  
[日程] 毎月第4日曜日、9:00～10:30

野菜、米、花、加工品など出店者がそれぞれ個性を発揮しているのが魅力



## JAの直売所「ハマッ子」



横浜農場も!



「ハマッ子」は、地元産の目印! JA横浜管内で生産された農畜産物を指すJA横浜のオリジナルブランドです。

店舗名	住所	営業時間	定休日
「ハマッ子」直売所本郷店	横浜市栄区桂町279-24	9:30～17:00	第1火曜日
「ハマッ子」直売所みなみ店	横浜市泉区中田西2-1-1	9:00～17:00	第3火曜日
「ハマッ子」直売所瀬谷店	横浜市瀬谷区本郷2-32-10	9:30～17:00	第1火曜日
「ハマッ子」直売所都筑中川店	横浜市都筑区中川中央1-26-6	10:00～17:30	第1火曜日
「ハマッ子」直売所たまプラーザ店	横浜市青葉区美しが丘2-15-1	10:00～18:00	第3火曜日
「ハマッ子」直売所中里店	横浜市青葉区下谷本町40-2	9:30～17:00	第2火曜日
「ハマッ子」直売所南万騎が原店	横浜市旭区柏町131-2	9:30～17:00	第2火曜日
「ハマッ子」直売所四季菜館	横浜市青葉区田奈町52-8	10:00～17:00	第1火曜日
「ハマッ子」直売所舞岡や	横浜市戸塚区舞岡町776	7:30～12:00※	毎週火曜日
「ハマッ子」直売所メルカートきた店	横浜市都筑区東方町1401	8:30～17:00	第3火曜日
「ハマッ子」直売所メルカートいそご店	横浜市磯子区田中2-4-8	8:30～17:00	第2火曜日
「ハマッ子」直売所メルカートつおか店	横浜市旭区今宿西町289	8:30～17:00	第1火曜日
「ハマッ子」直売所メルカートかながわ店	横浜市神奈川区神大寺2-19-15	8:30～17:00	第2火曜日

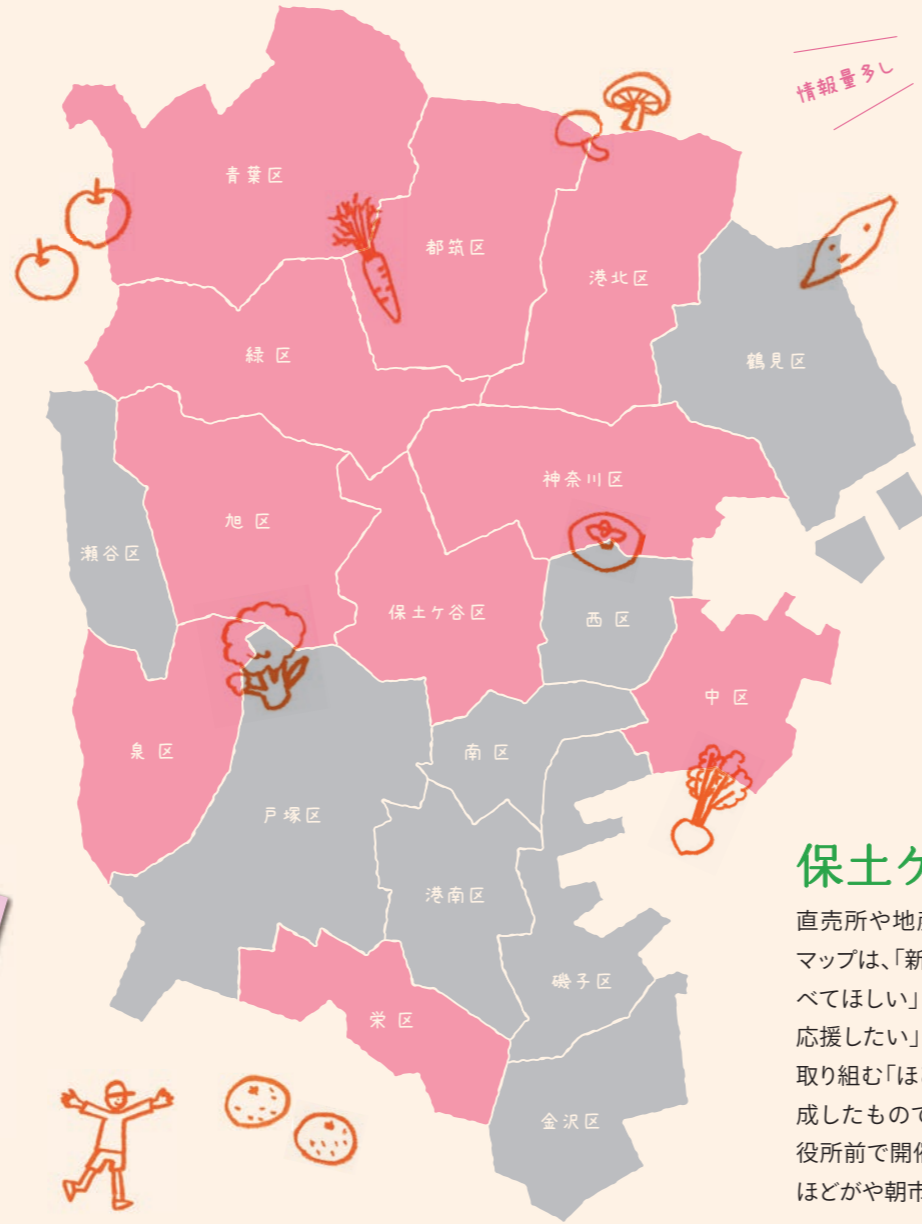
■ 定休日が祝日と重なる場合は、翌平日が定休日 ※土日祝日 7:30～14:00

# 各区の直売所をMAPで巡ろう!

各区の直売MAPをwebで紹介



市民の生活に最も近い区役所では、区ごとの地産地消の推進も担っています。各区の発行している直売所MAPを手にして、横浜市各区の直売所巡りをしてもいいですね。(各区の農地面積等の情報は「農林業センサス2015」、各区発行のマップより)



## 青葉区

横浜の米どころ

『あおば地産地消マップ』は折り込み型マップがセットになった、携行しやすい小冊子です。区内22か所の直売所に、区内に3か所あるJAのハマッ子直売所やスーパー、18か所の地産地消サポート店を紹介。同サイズの『あおば野菜のレシピ帖』とともに区民に評判です。



## 緑区

直売所の数が多数

緑区は消費者に直接販売している農家数が多いのが特徴です。『とれたてみどり 緑区直売所マップ』は区内49か所の直売所情報に加え、区役所で開催している「とれたてみどり直売所」(毎週火・木曜日実施)や、農家が直接販売する「みどり地場野菜の直売会」(年6回)情報も掲載。『地産地消みどりグルメガイドマップ』とセットで楽しめます。



## 泉区

耕地面積 No.1!

区の魅力PRサイト「いずみくらし」内で区内の直売所や収穫体験、地産地消に取り組む飲食店等をデジタルマップで紹介。泉区は経営耕地面積237haで市内一位、市民団体や福祉事業所、農家等との連携により、横浜の地産地消の推進に取り組んでいます。



## 旭区

収穫体験できるよ

旭区農作物直売所マップでは、33か所の直売所と、イチゴやブルーベリーの収穫体験、JAの直売所2か所、都岡地区恵みの里などの情報を掲載。「あさひの朝市」は毎月第4木曜日に区役所1Fで開催、区民ボランティア「旭ふれあいファーマーズ」が販売協力しています。



## 栄区

食育に力点

栄区が発行する『「さかえの野菜」めしあがれ!2』は、野菜の栄養と上手なとり方、栄区産の野菜を使ったレシピなど、栄区の農と地産地消を紹介する食育情報誌です。区内15か所の直売所情報のほか、食育に取り組む栽培収穫体験ファーム情報等を掲載。



## 都筑区

農家戸数No.1!

都筑区の農家戸数479戸は市内一位!コンパクトな都筑野菜直売所マップは区内34か所の直売所と、月3回程度区役所で開催される「都筑野菜朝市」の情報が載っています。都筑区では動画で楽しむ都筑野菜クッキングの配信も行っています。

## 港北区

情報量多し

港北区直売所マップ+よこはま地産地消サポート店の冊子では、野菜・果物の直売所34か所、花苗等の直売所8か所、鶏卵の直売所1か所、市内野菜・果物の販売店及びよこはま地産地消サポート店11か所、収穫体験農園3か所、合計57か所の地産地消情報を網羅しています。



## 神奈川区

すごろくの表紙が楽しい

『神奈川区の直売所探訪 ベジMAP Go Go!』は市民との協働で作成した手描きのイラストマップで、21か所の直売所が紹介されています。表紙のすごろくから始まり、エリアごとに散歩道を紹介など、読みたくなる工夫が盛りだくさん。生産者はもちろん、冊子のつくり手の思いが伝わってきます。



## 保土ヶ谷区

区民団体が活躍

直売所や地産地消飲食店を紹介したマップは、「新鮮でおいしい農作物を食べしてほしい」「頑張っている農家さんを応援したい」と地産地消のまちづくりに取り組む「ほどがや産直便」と一緒に作成したものです。毎月第4金曜日に区役所前で開催の「まちなか農家さんのほどがや朝市」でも活躍!



## 中区

中区ならではの情報発信

中区では、よこはま野菜の存在を多くの区民に伝えるために、健康づくりと運動した、食育に力を入れています。食育ランチオンマツを作成し、旬の野菜と地産地消を取り入れた情報発信を保育園、学校、ボランティア等と連携しながら進めています。

## 中区

よこはま野菜の存在を多くの区民に伝えるために、健康づくりと運動した、食育に力を入れています。食育ランチオンマツを作成し、旬の野菜と地産地消を取り入れた情報発信を保育園、学校、ボランティア等と連携しながら進めています。

### Pick Up! 各区の特徴的な直売情報

#### あおばマルシェ (青葉区)

青葉区役所1Fの区民ホールで毎月第3木曜11:30~15:00に開催している「あおばマルシェ」。地元野菜の直売や、はまパークを使ったソーセージ、福祉事業所の干し野菜、地元の素材を使った焼き菓子、はまふうどコンシェルジュによる企画品など、月替わりで地産地消を楽しめます。あおばマルシェクラブ(ポイントカード)で10ポイントためるとあおばマルシェオリジナルエコバッグのプレゼント!リピーターも大満足です。



#### 駅マルシェ (泉区)

横浜市と相鉄ホールディングス(株)による「相鉄いずみ野線沿線次代のまちづくり (FCP=Future City Project)」は、市民・地域団体、大学、行政、民間企業による協働プロジェクト。いずみ野線沿線の「いずみ野マルシェ+」や「緑園街マルシェ」「やよい祭」など、駅前の賑わいにつながるマルシェイベントは幅広い世代に大人気です。「マルシェによって地域の魅力を再発見することにつなげたい」と横浜市建築局住宅再生課の石川咲貴子さんは話します。



#### よこはま野菜 くるくるマルシェ (中区)

中区では、区内の地域ケアプラザ、地区センター、コミュニティハウスなどを会場に、移動販売型の出張マルシェ「よこはま野菜くるくるマルシェ」が開催されています。野菜の仕入れや販売は驛テラスが手がけ、マルシェを運営するのはNPO法人スーリールファムです。「地域ケアプラザのような地域密着型の公的施設での実施によって、横浜野菜を身近に感じてもらい、地域の交流にも役立てていきたい」と担当者は話します。

